



# 日進工具株式会社

～超硬小径エンドミルのトップランナー～

事業概要と経営戦略を  
情熱をもって  
皆さまにお伝えいたします



2013年3月期 1Q決算概要

2012年7月31日  
(証券コード6157)

# 目次

## 1. 日進工具とは

- P. 3 … 会社概要と代表者プロフィール
- P. 4 … 日進工具の特徴
- P. 7 … 需要業種と主要ユーザー

## 2. 2013年3月期1Qの業績

- P. 9 … エグゼクティブサマリー
- P. 10 … 2013年3月期1Qの重要なトピック
- P. 11 … 損益計算書サマリー
- P. 17 … 貸借対照表サマリー

## 3. 2013年3月期の業績見通し

- P. 19 … 業績予想見通し
- P. 21 … 配当の推移

## 4. 業界動向と事業戦略

- P. 23 … 業界動向
- P. 25 … 3つの経営戦略

## 5. 日進工具が目指すもの

- P. 31 … Made in Japanを標榜
- P. 32 … 顧客満足度の向上
- P. 35 … 一層開かれた株主総会を目指して

## <参考資料>

- P. 38 … 創業時からの売上高・経常利益推移
- P. 39 … 過去5年間の業績と主要データの推移



# 1. 日進工具とは



# 会社概要と代表者プロフィール

## 会社概要

商号 : 日進工具株式会社  
創業 : 1954年12月  
事業内容 : 超硬小径エンドミル等の製造販売  
取引所 : ジャスダック市場(コード6157)

### 2012年3月期業績

売上高 : 57.8億円  
経常利益 : 10.3億円  
売上高経常利益率 : 17.9%

### マーケットにおける評価 (7/30時点: 株価2,600円)

時価総額 : 40.6億円  
PER(13/3期予想) : 6.77倍  
PBR(12/3期実績) : 0.61倍



代表取締役社長  
後藤 勇

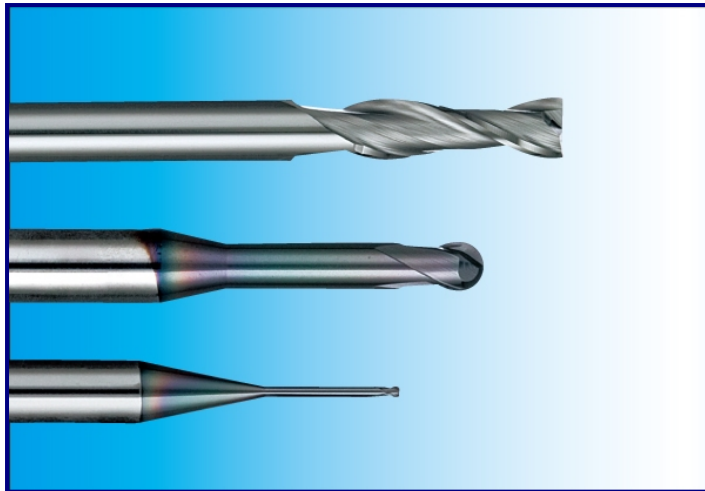
## 後藤勇のプロフィール

1966年 入社  
1991年 代表取締役社長就任  
2004年 ジャスダック上場

## 後藤勇の信条

☆笑顔と感謝を忘れずに  
☆モノづくりはヒトづくり

# 日進工具の特徴



当社製品『超硬エンドミル』は、  
金型や自動車部品・電子部品等  
の加工に使用される

**1. 超硬小径エンドミルのトップランナー**  
～国内シェアは31.9%とトップ～

**2. 高収益体質**  
～第1四半期における  
売上高経常利益率は20.4%～

**3. 無借金経営**  
～第1四半期末における  
自己資本比率は86.7%と強固な財務体質～

**4. 高い危機対応能力**  
～昨年の大震災後  
仙台工場は約1ヶ月で全面復旧～

# エンドミル・金型について



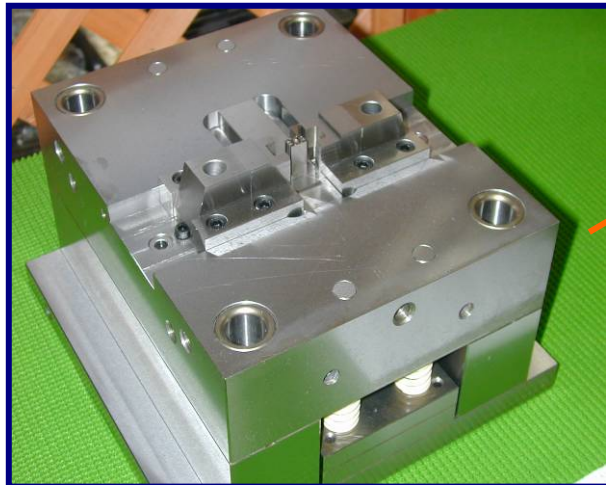
## マシニングセンタ

エンドミル等を装着して金属を削り、金型などを作成する



## 射出成形機

加熱したプラスチックを金型に注入し、製品を形作る



## 金型

プラスチックなどを流し入れて型をとるためのもの



エンドミルケースが完成

# 生産・開発拠点(仙台)

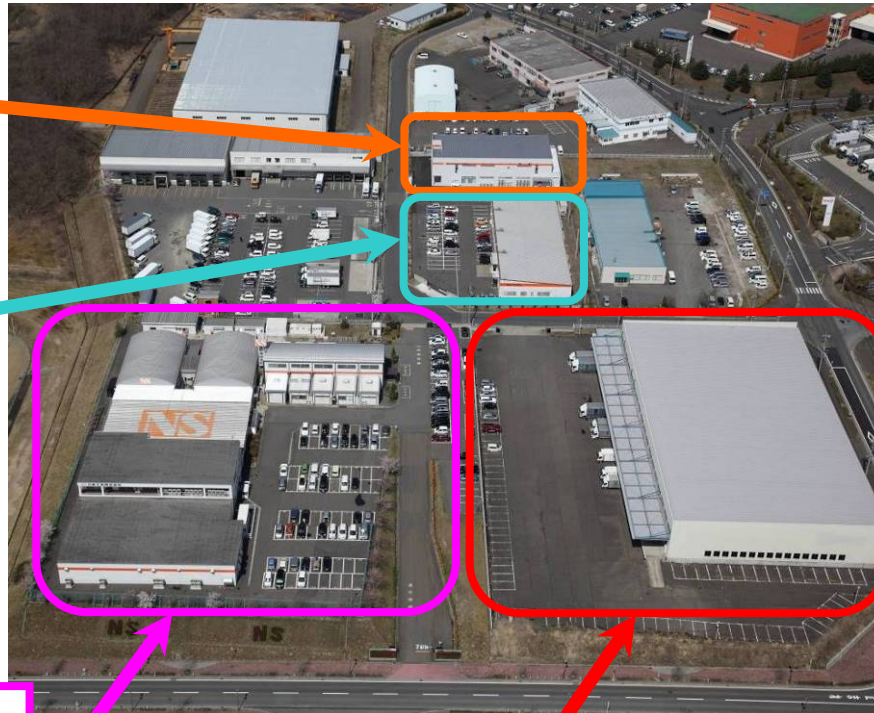
加工センター



開発センター



仙台工場



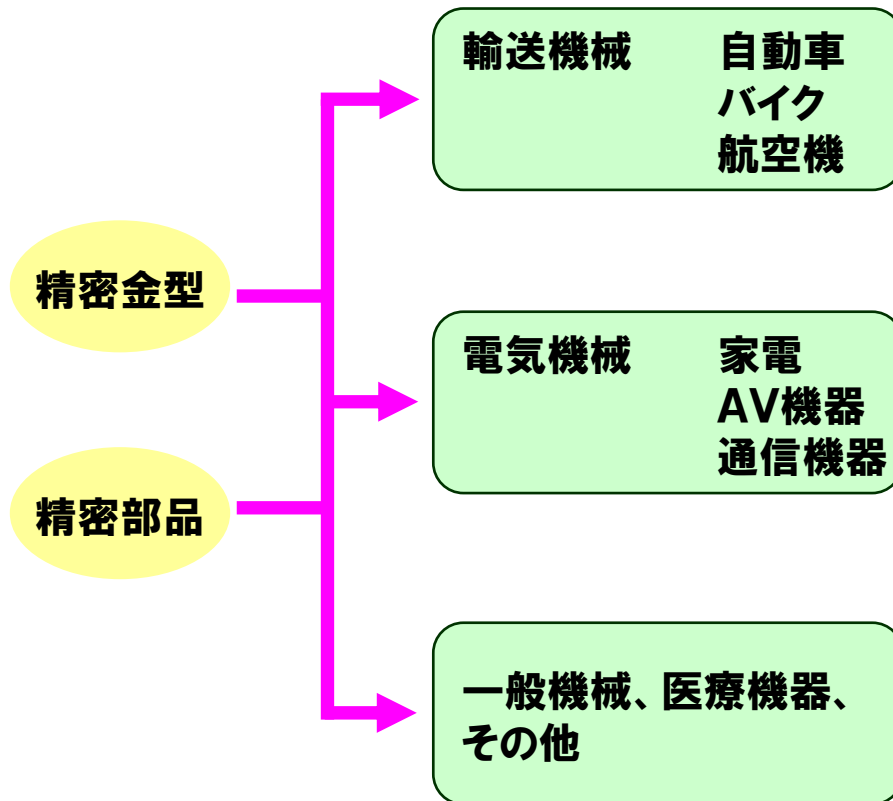
2011年8月 土地・建物取得  
今後、事業拡大を図る  
(取得金額:297百万円)

工場内風景



# 需要業種と主要ユーザー

## 需要業種



## 主要ユーザー

主なユーザー企業名	業種
キヤノン	カメラ・OA機器
ニコン	カメラ・半導体製造装置
パナソニック	民生用電機
ヒロセ電機	電子部品
アルプス電気	電子部品
東京エレクトロン	半導体製造装置
トヨタ自動車	自動車
デンソー	自動車部品
アイシン精機	自動車部品
ブラザー	機械(事務機)
バンダイ	玩具
シマノ	自転車部品等





## 2. 2013年3月期1Qの業績



# エグゼクティブサマリー

(百万円)

	前1Q 実績	当1Q 実績	当上期 予想	進捗率
売上高	1,457 (+23.8%)	1,569 (+7.7%)	3,020 (+3.6%)	52.0%
営業利益	231 (+65.3%)	306 (+32.6%)	500 (-6.0%)	61.4%
経常利益	244 (+62.9%)	320 (+31.2%)	510 (-8.3%)	62.8%
当期純利益	138 (+64.3%)	185 (+33.6%)	280 (-11.9%)	66.2%

- 当1Qは四半期ベースで過去最高の売上高を達成し、好調に推移
- 増収と生産効率アップによる売上総利益率の大幅改善により前年同期比で3割増益を達成
- 当上期予想に対して順調な進捗率
- 当上期予想の前提は設備投資増(前期比+3.4億円)による減価償却費増(同+0.9億円)により減益を見込む

※( )内は前年同期比増減率

# 2013年3月期1Qの重要なトピック

## 1. 四半期ベースで過去最高の売上高を達成

- 自動車関連やスマートフォン・タブレット端末関連が好調
- 海外売上高も過去最高を更新

## 2. 上期業績予想に対して順調な進捗率

- 売上高52.0%、経常利益62.8%を確保
- 2Qも業績は堅調に推移中

## 3. 日進エンジニアリングが連結対象に

- エンドミルのコーティングと再研磨が主要業務
- 連結業績への影響はほとんど発生せず（グループ内取引中心）

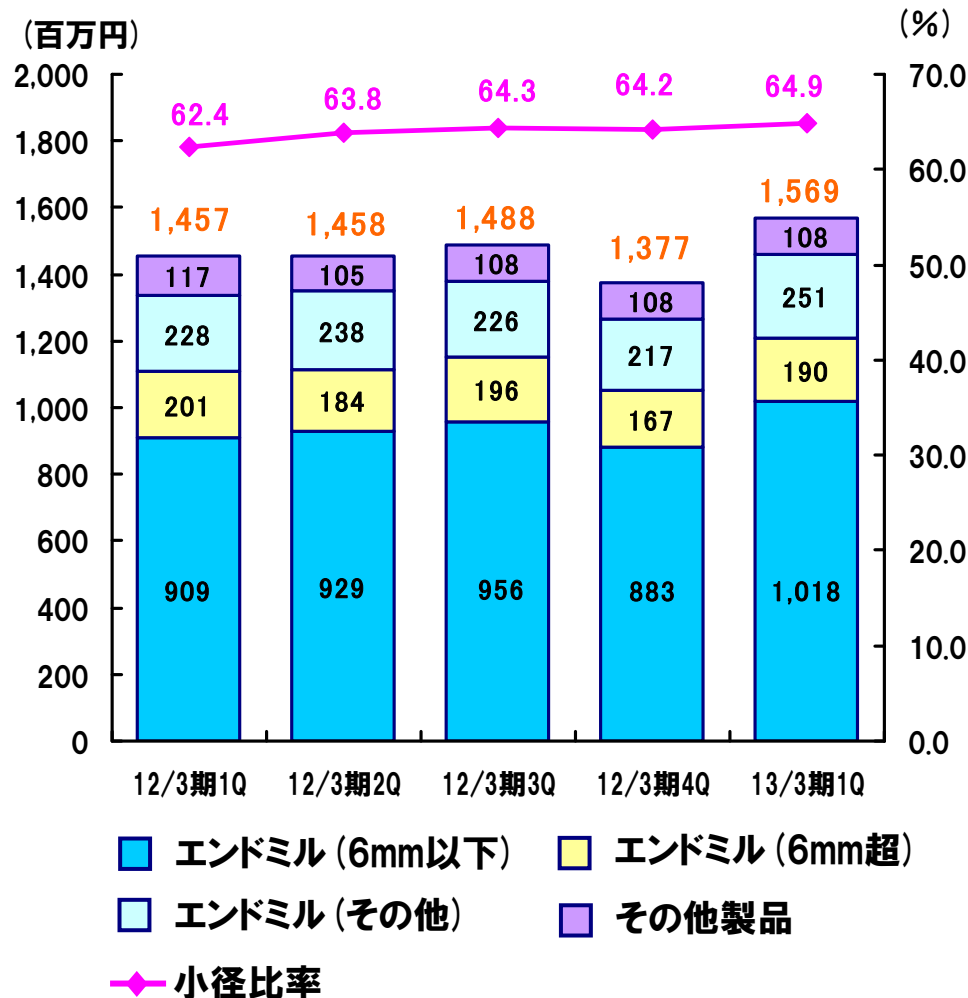
# 損益計算書サマリー

(百万円、%)

	2012/3期 1Q	2013/3期 1Q	前年同期比	コメント
売上高	1,457	1,569	+7.7%	前年同期比7.7%増の1,569百万円で四半期ベースでの過去最高を更新
売上総利益(率)	655 (45.0%)	777 (49.5%)	+18.5%	生産効率の向上により売上総利益率は前年同期比4.5ポイントアップ
販管費(率)	424 (29.1%)	470 (30.0%)	+10.7%	連結子会社追加による人件費増等から前年同期比10.7%の増加
営業利益(率)	231 (15.9%)	306 (19.6%)	+32.6%	3割強の営業増益を果たし、営業利益率は3.7ポイントアップ
経常利益(率)	244 (16.8%)	320 (20.4%)	+31.2%	経常利益率は当社が目標とする20%を確保
当期純利益(率)	138 (9.5%)	185 (11.8%)	+33.6%	
設備投資額	89	427	+379.3%	機械設備増強、子会社工場新設
減価償却費	99	125	+25.7%	機械設備、隣接地倉庫(昨年8月購入)等の追加により増加
従業員数	221人	260人	+17.6%	連結子会社の追加や新規採用により増加

# 売上高の推移 ①製品別

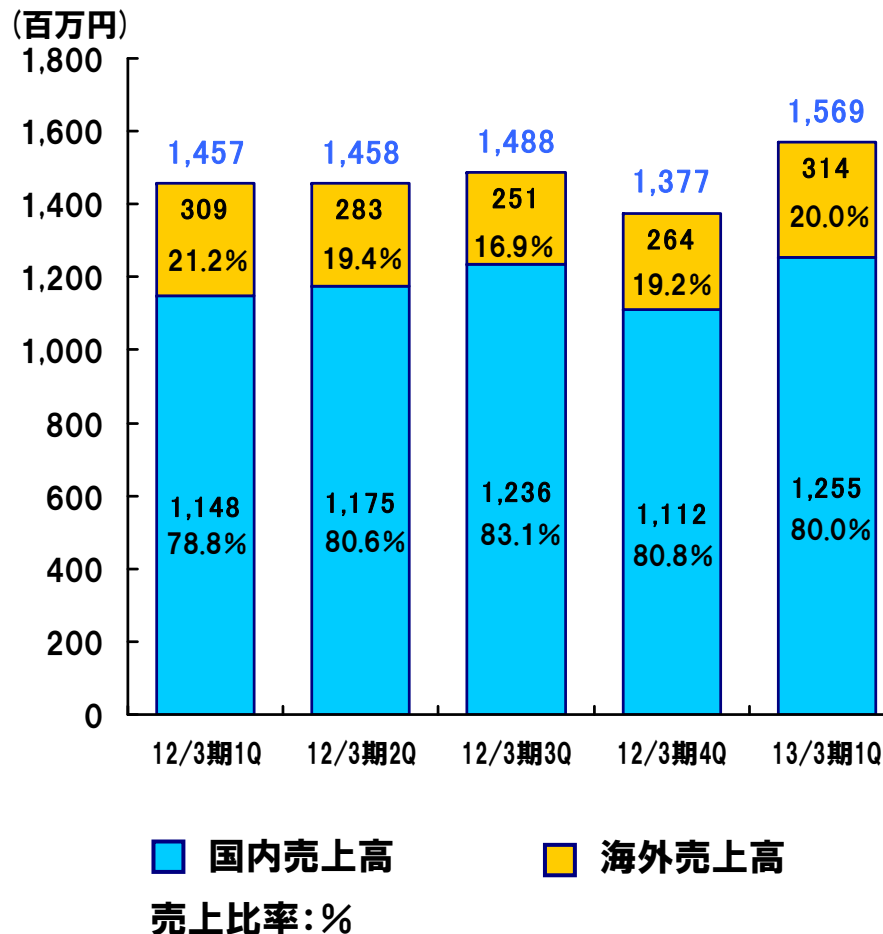
製品別売上高と小径比率の推移



- 連結売上高は前年同期比7.7%増の1,569百万円と四半期ベースでの過去最高を更新
- 需要先では自動車関連やスマートフォン・タブレット端末関連が好調。スマートフォンの部品点数は携帯電話の5割増で当社製品への需要が拡大中 (P.29を参照)
- 製品別では、主力の「エンドミル (6mm以下)」が前年同期比12.0%増の1,018百万円と順調、また特殊品の増加等から「エンドミル (その他)」も同10.1%増、小径比率は同2.5ポイントアップし64.9%

# 売上高の推移 ②国内・海外

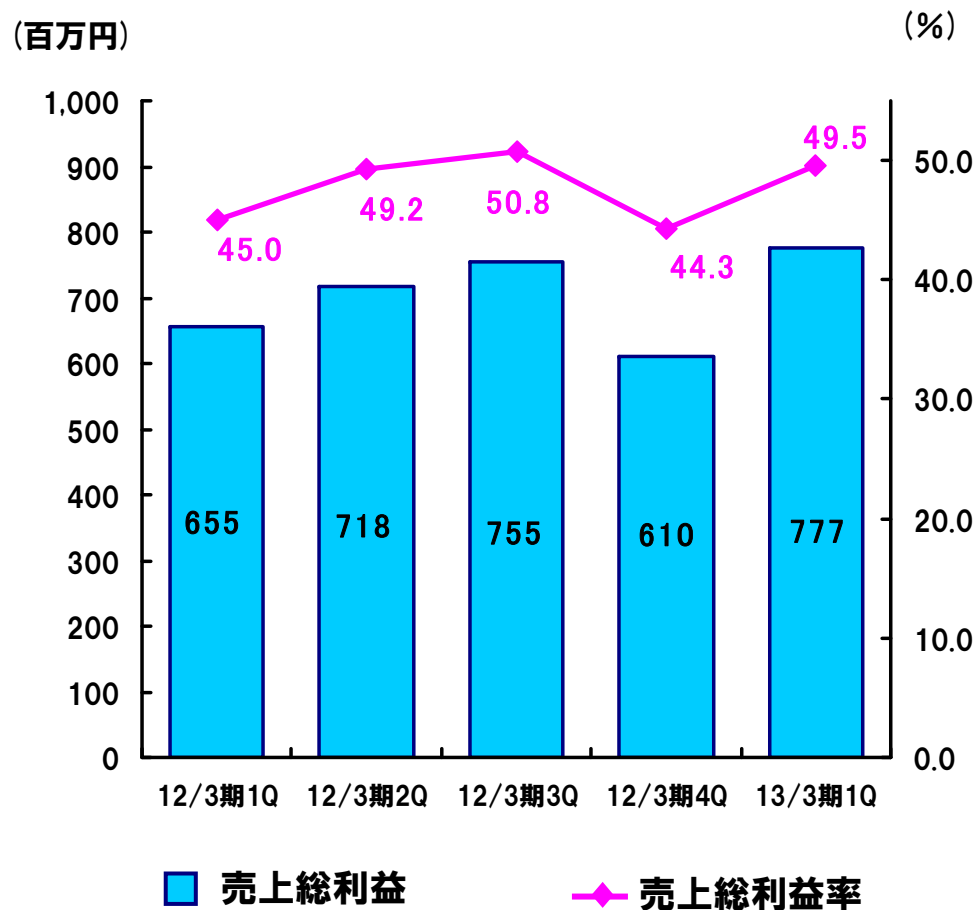
国内・海外売上高の推移



- 国内売上高は前年同期比9.3%増の1,255百万円
- 海外売上高は前年同期比1.7%増の314百万円（四半期ベースでの過去最高）
- 国内の伸びが上回ったため、海外売上高比率は前年同期比1.2ポイント低下の20.0%
- 地域別では、台湾含む中国が前年同期比17.0%増と伸びたが、昨年の同時期に震災による在庫積み増しのあった欧州や洪水被害からの回復途上にあるタイを中心とした東南アジアは1割強の減少
- 海外向け製品は円建て販売が主体

# 売上総利益の推移

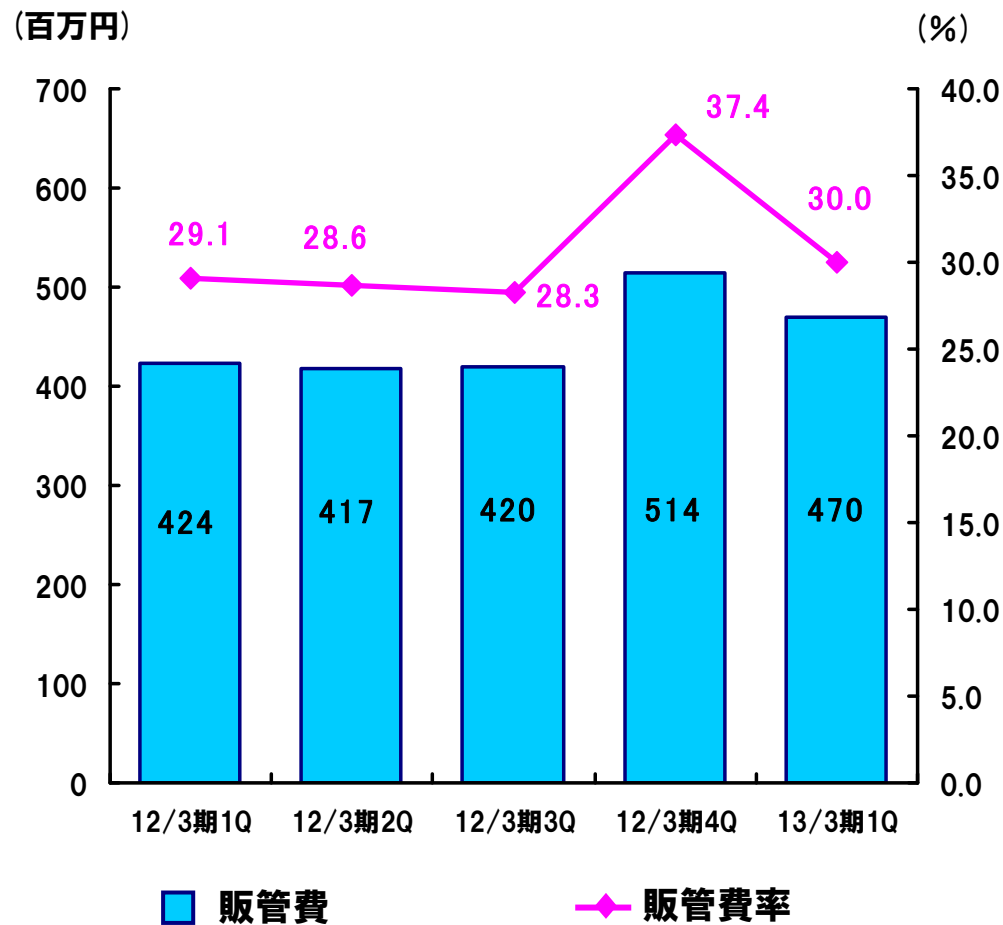
## 売上総利益と売上総利益率の推移



- 当1Qの売上総利益は前年同期比18.5%増加し777百万円
- 販売上位アイテムの生産拡大及び在庫積み増し（前期末比43百万円増）により生産効率が向上、売上総利益率は同4.5ポイント上昇し49.5%
- 12/3期4Qは売上高減少の影響で利益率は一時的に落ち込んだが、当1Qでは回復傾向に

# 販管費の推移

## 販管費と販管費率の推移

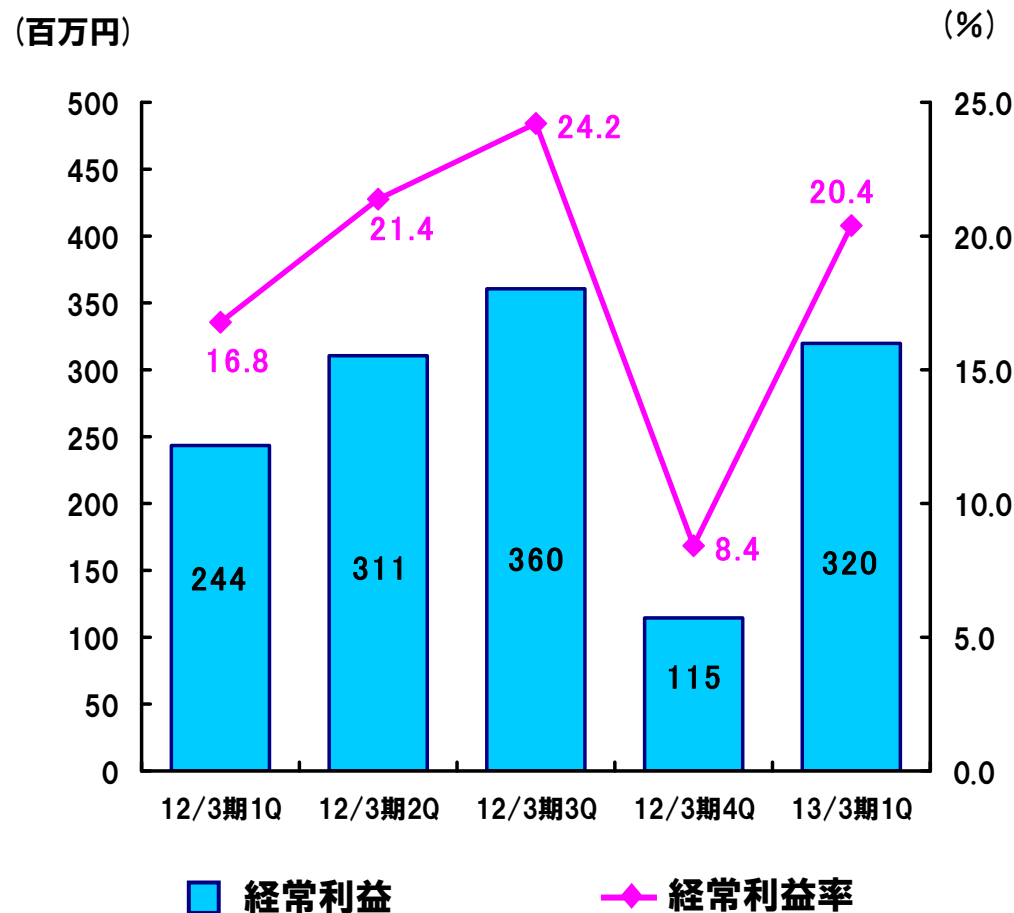


- 当1Qの販管費は、連結子会社（日進エンジニアリング）の増加や営業人員増等により人件費が増加したほか、昨年は震災により中止となった展示会への出展等もあり、前年同期比10.7%増の470百万円
- 販管費率は0.9ポイント上昇し30.0%
- 12/3期4Qは賞与引当金の計上により販管費及び販管費率がともに上昇



# 経常利益の推移

## 経常利益と経常利益率の推移



- 当1Qの経常利益は前年同期比31.2%増の320百万円
- 売上高経常利益率は同3.6ポイント上昇し20.4%(売上総利益率改善4.5P、販管費率上昇0.9P)
- 営業外収益は、受取配当金や家賃収入などによるものが16百万円発生
- 12/3期4Qは売上高の減少に加えて、賞与引当金の積み増し等により経常利益が落ち込む

# 貸借対照表サマリー

(百万円)

	2012/3	構成比	2012/6	構成比	前期比
<b>(資産の部)</b>					
I 流動資産	4,471	56.6%	4,145	53.1%	-7.3%
現金及び預金	2,231	28.2%	1,696	21.7%	-24.0%
受取手形及び売掛金	794	10.0%	925	11.9%	16.5%
商品及び製品	685	8.7%	728	9.3%	6.4%
II 固定資産	3,434	43.4%	3,655	46.9%	6.4%
有形固定資産	3,165	40.0%	3,405	43.6%	7.6%
無形固定資産	11	0.1%	10	0.1%	-9.6%
投資その他の資産	257	3.3%	240	3.1%	-6.8%
資産合計	7,906	100.0%	7,801	100.0%	-1.3%
<b>(負債の部)</b>					
I 流動負債	949	12.0%	759	9.7%	-20.0%
買掛金	176	2.2%	248	3.2%	41.3%
II 固定負債	279	3.5%	277	3.6%	-0.7%
負債合計	1,228	15.5%	1,037	13.3%	-15.6%
<b>(純資産の部)</b>					
純資産合計	6,678	84.5%	6,764	86.7%	1.3%
負債・純資産合計	7,906	100.0%	7,801	100.0%	-1.3%

- 機械設備導入や子会社新工場の建設費支払い等から現預金が減少し有形固定資産が増加
- リスク対策の一環として主力製品の在庫拡充を図ったため、商品及び製品が増加
- 無借金経営のため、有利子負債額はゼロ



### 3. 2013年3月期の業績見通し



# 業績予想見通し

## 2013年3月期の業績予想

(百万円)

	2012/3 実績	2013/3 予想	前期比	コメント
売上高	5,781	6,190	+7.1%	販売強化により増収見込む
営業利益	962	1,020	+5.9%	増益見込むが利益率はほぼ横ばい
経常利益	1,032	1,050	+1.7%	営業外収益（雑収入）が減少
当期純利益	535	600	+12.1%	子会社税負担の減少見込む
設備投資	1,051	1,560	+48.4%	機械設備増強、子会社工場新設
減価償却費	471	675	+43.3%	設備投資増により増加
EPS	343.68円	383.88円	+11.7%	
1株当たり 配当金	70円	77円	+10.0%	配当性向20%を目処

# 2013年3月期の重点戦略

## 1. 小径エンドミルの販売拡大

(国内) 精密微細加工ユーザーの新規発掘と育成  
部品加工ユーザーへの更なるアプローチ  
(海外) 各国・各地域にマッチした対応の実践

## 2. 新製品開発のスピードアップ

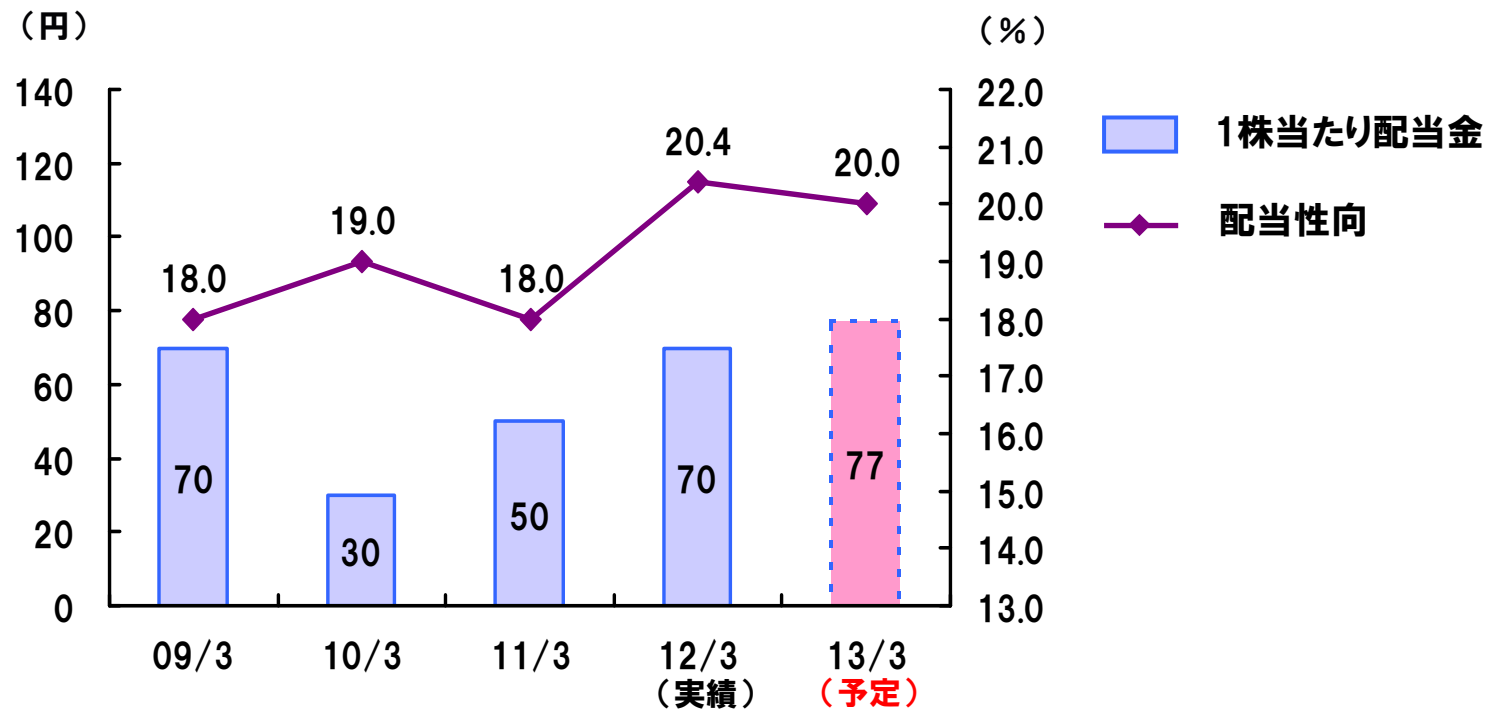
脆性材、高硬度材等多様な被削材への対応  
新規市場に向けた工具開発

## 3. NSグループ全体での経営資源の有効活用

グループ全体での最適な生産体制の構築  
(生産性向上、内製化によるコスト削減)

# 配当の推移

## 業績に応じた利益還元（配当性向20%を目標）



- 2012年3月期は業績上方修正により期初計画36円→70円に変更
- 2013年3月期は7円増配の77円を予定



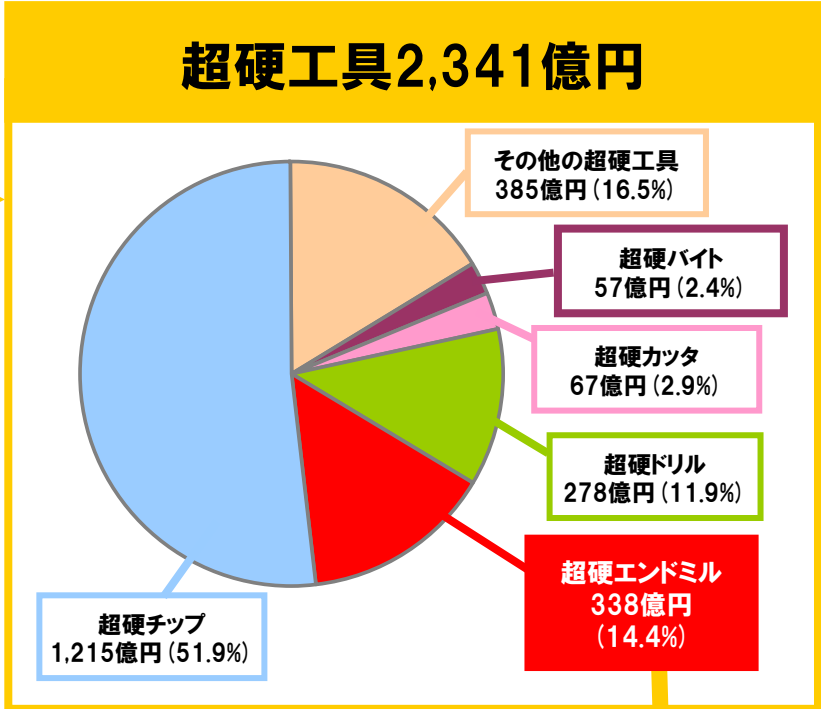
## 4. 業界動向と事業戦略



# 業界動向

機械工具生産金額 (2011年) 総額 4,113 億円	
超硬工具	2,341億円 (56.9%)
C(W)BN工具	221億円 (5.4%)
ダイヤモンド工具	695億円 (16.9%)
特殊鋼切削工具	854億円 (20.8%)

出所: 経済産業省「機械統計」



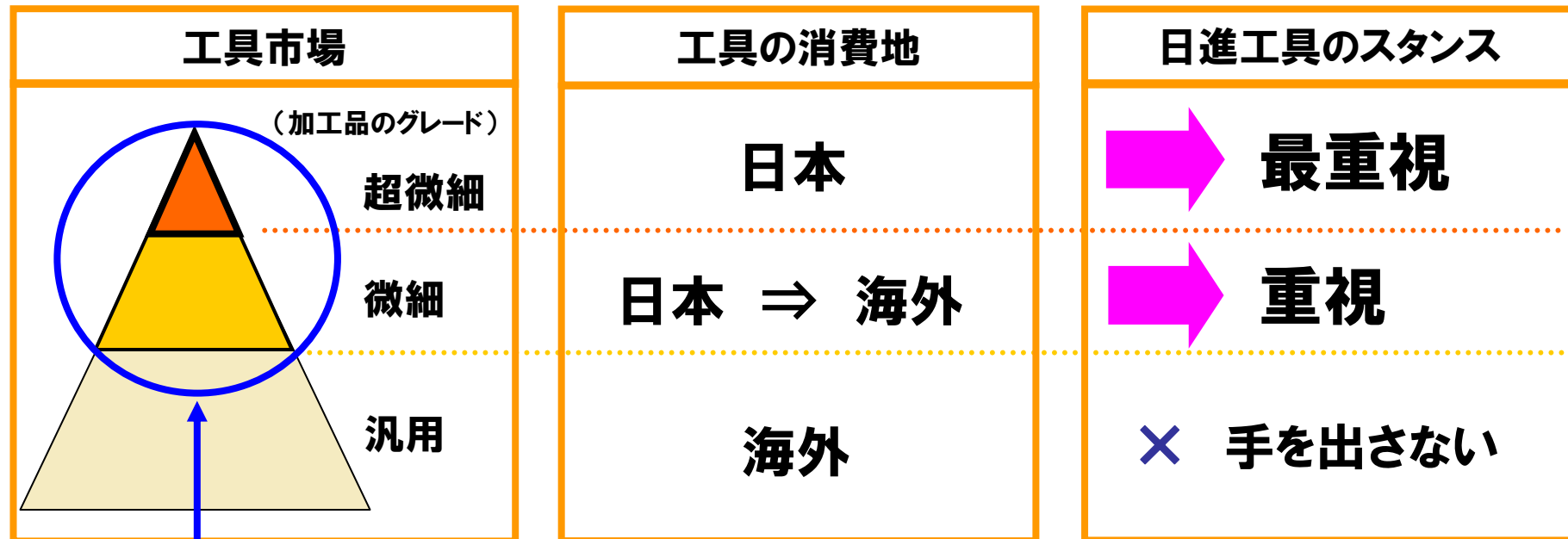
当社は、超硬小径エンドミルの圧倒的No.1企業を目指す

小径市場は  
約150億円

出所: 当社推計



# 工具市場の動きと当社のスタンス



当面のターゲット（高付加価値）

市場規模：150～200億円

2つの視点にフォーカス

- 超微細加工
- 高付加価値

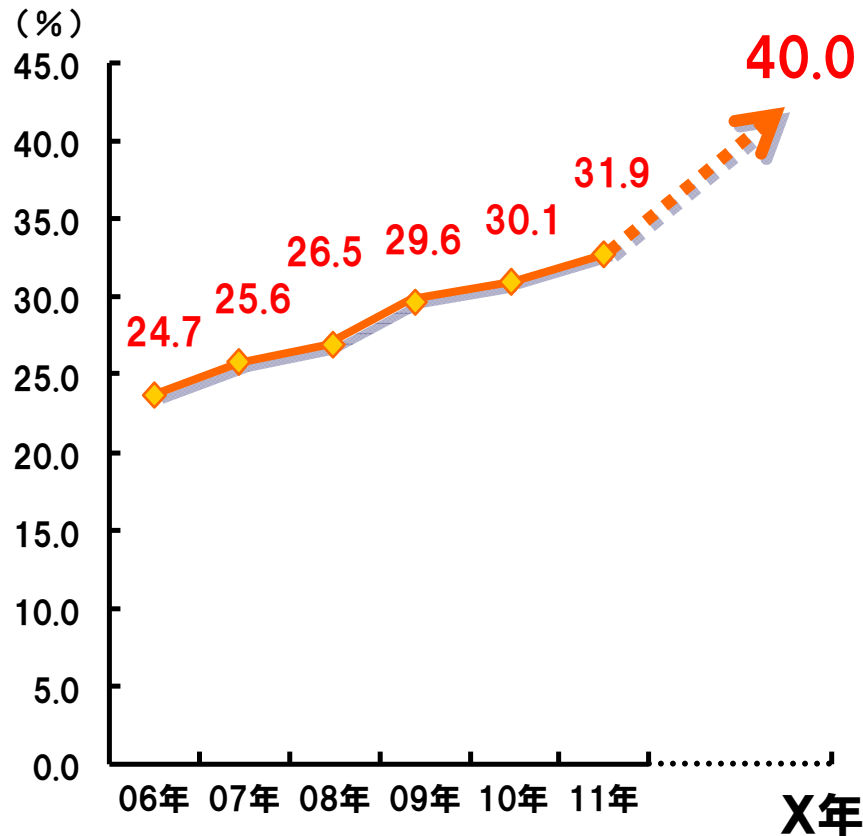
# 3つの経営戦略

<p>① 国内戦略</p>	<p>日本が主体の超精密・微細加工分野で オンリーワン企業へ ➡ シェアを現状の31.9%→将来的に40%へ</p>
<p>② 海外戦略</p>	<p>海外でも「指名される工具」へ ➡ 売上高比率を現状の19.2%→将来的に30%へ 工作機械メーカー・現地代理店との関係強化</p>
<p>③ 製品戦略</p>	<p>高精度技術力の推進による 事業フィールドの拡大 ➡ 新素材工具の研究・多角化</p>

# ① 国内戦略

## 日本が主体の超精密・微細加工分野でオンリーワン企業へ

### 超硬小径エンドミルの当社シェア

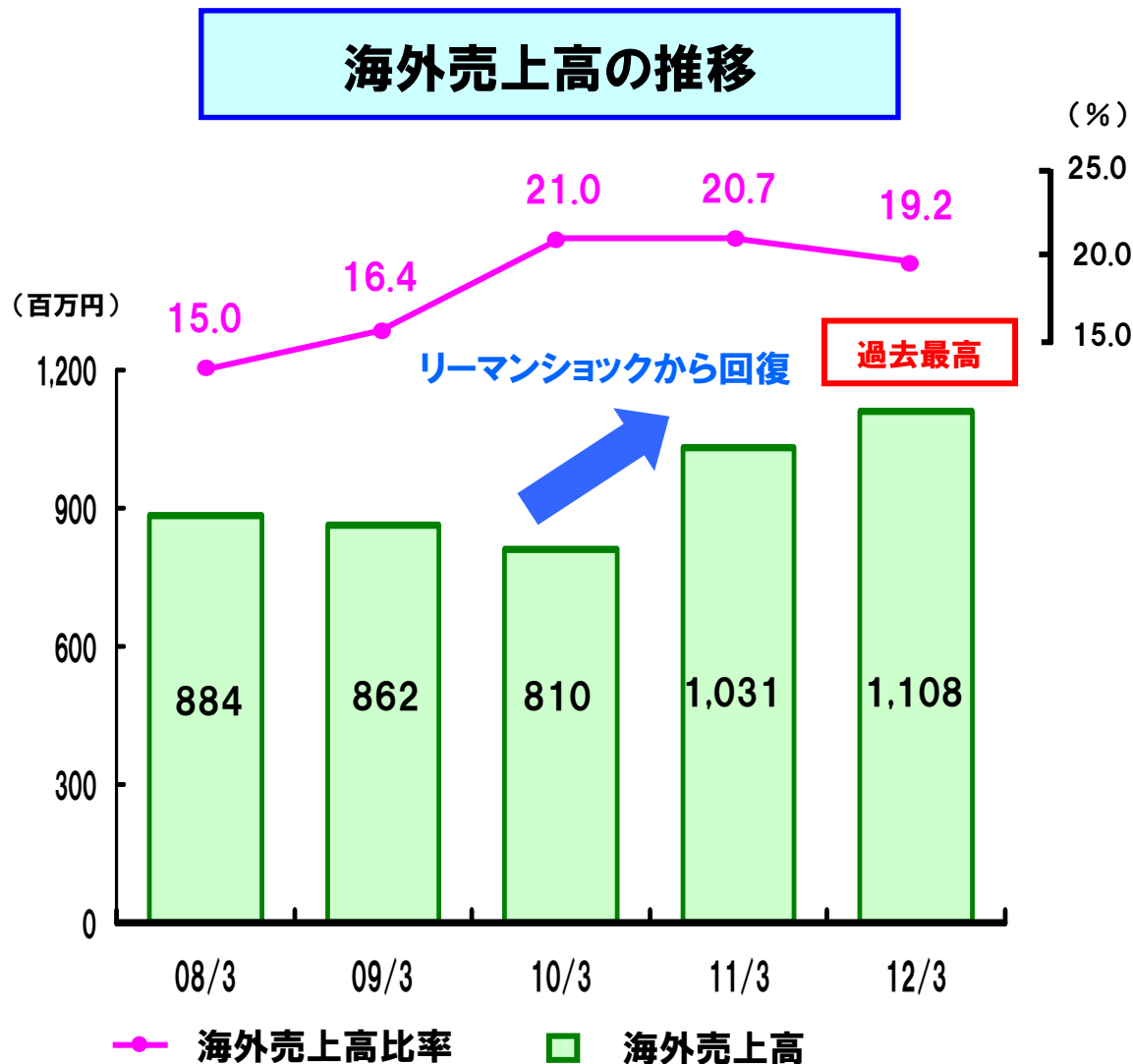


(出所)当社推計

### シェアアップの背景

- ① 顧客からの相対的評価上昇
- ② 高精度、安定供給による信頼度向上
- ③ 選択と集中の成果

## ② 海外戦略 海外でも「指名される工具」へ

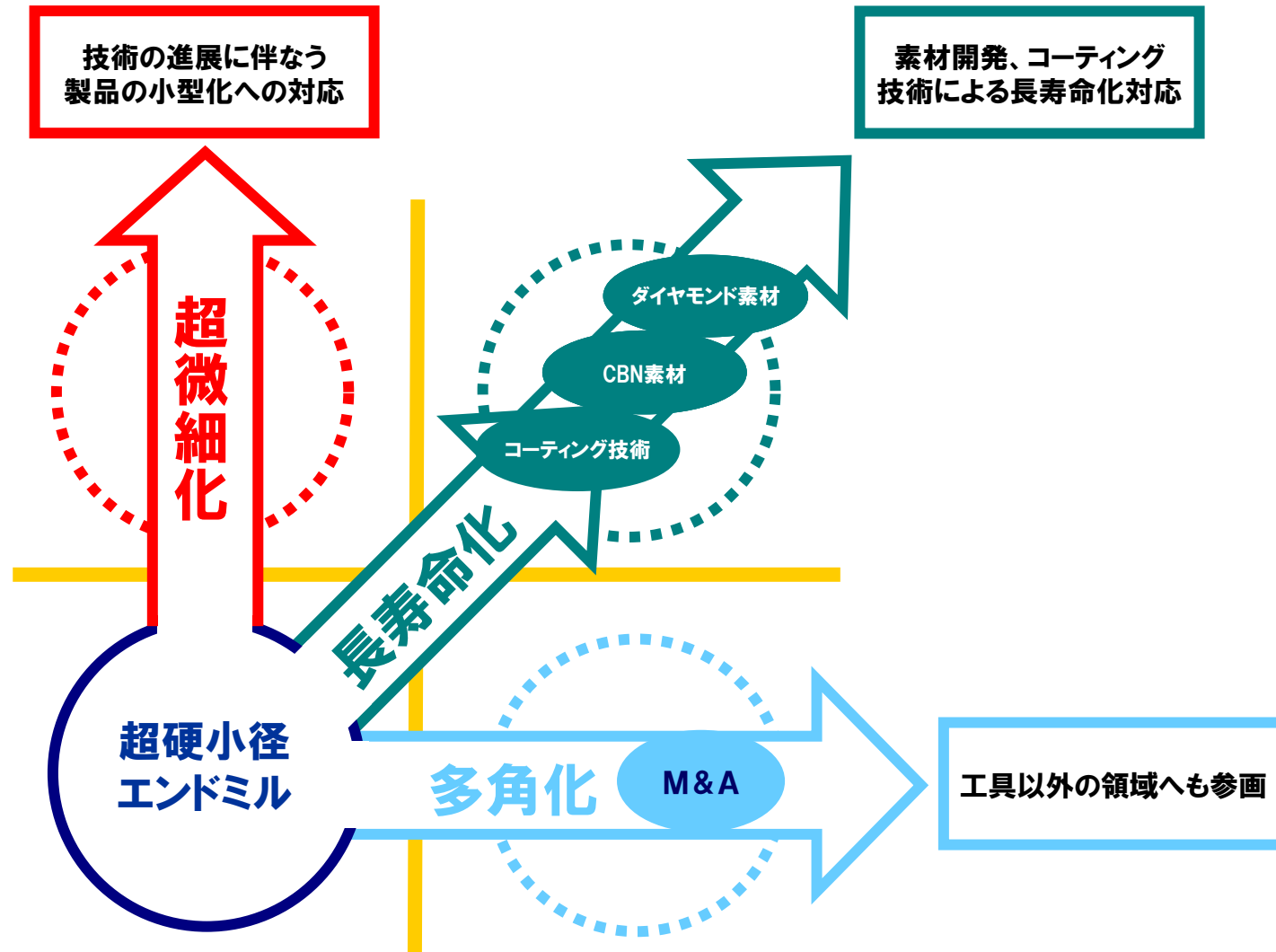


### 海外戦略

- 売上高比率30%を目指す
- 工作機械メーカーとの協調によるセールス
- 国際展示会への積極的な出展で当社製品をアピール
- 国別代理店政策を強化

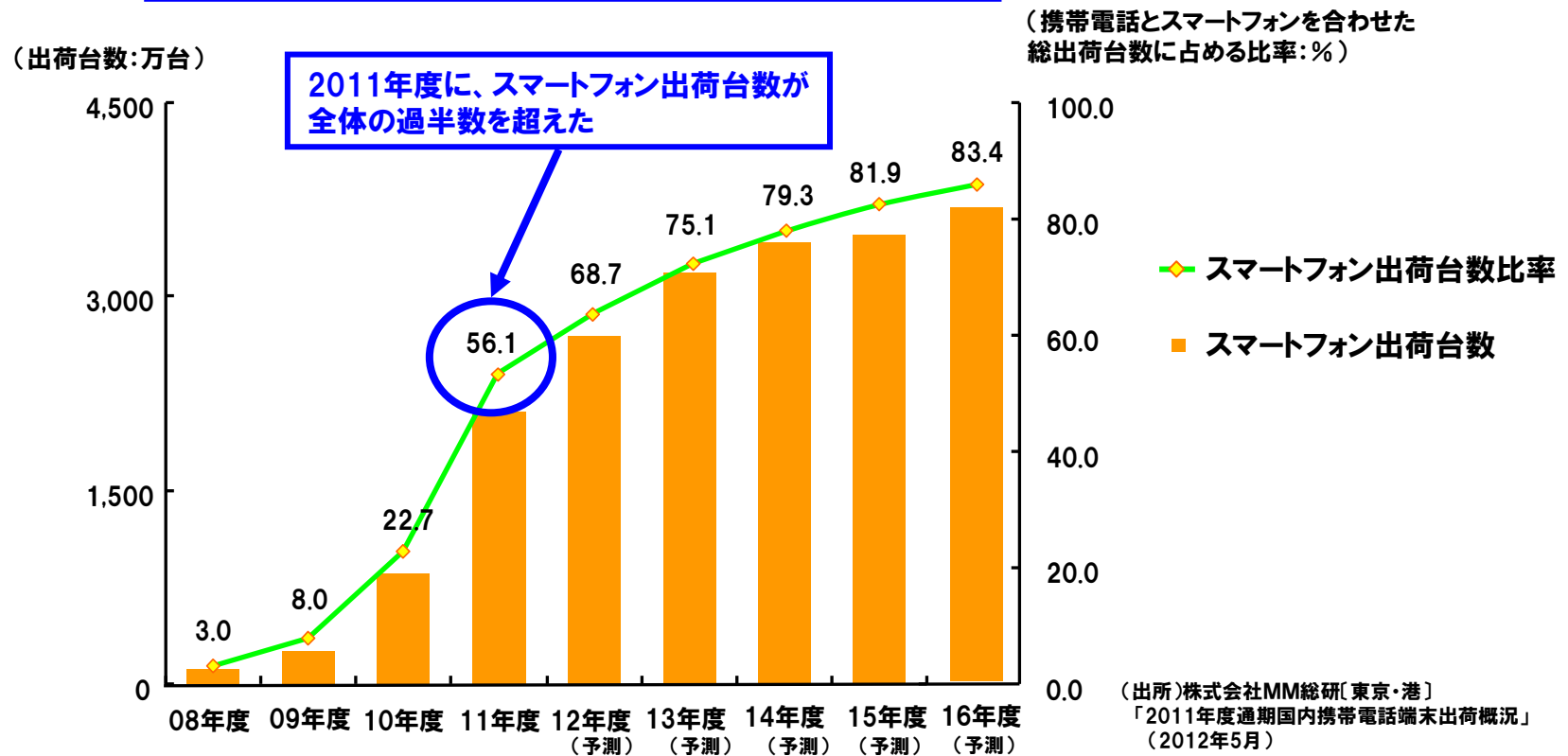
### ③ 製品戦略

## 高精度技術力の推進による事業フィールドの拡大



# 今、最もホットな分野：スマートフォン市場の動向

## スマートフォン出荷台数(比率)の推移・予測



スマートフォンの部品点数は携帯電話の5割増 ➡ 超硬小径エンドミルの需要拡大へ



## 5. 日進工具が目指すもの



# 『Made in Japan』を標榜

## ◇ 国内生産にこだわる

先端技術の必要な製品は国内から出て行かない

国内拠点こそ研究開発向上のカギ

超硬小径エンドミルの製造は、労働集約型ではなく設備集約型（ハードとソフト）

## ◇ 国内のシェアアップ ⇒ 海外売上高の拡大

国内での評価が上がれば、海外での注目度も上がる

工作機械メーカーとの協調、展示会への積極的な出展

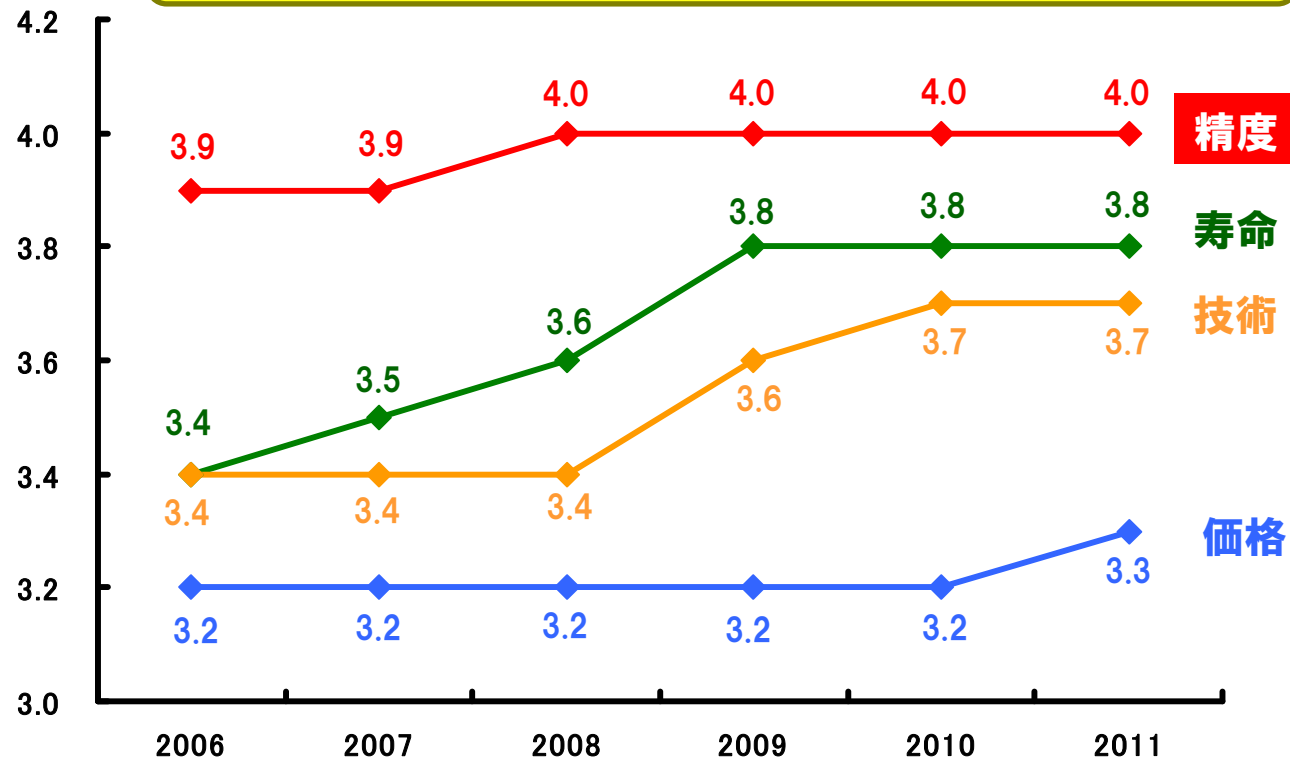
**『Made in Japan』こそ最強の戦略**



# 顧客満足度の向上

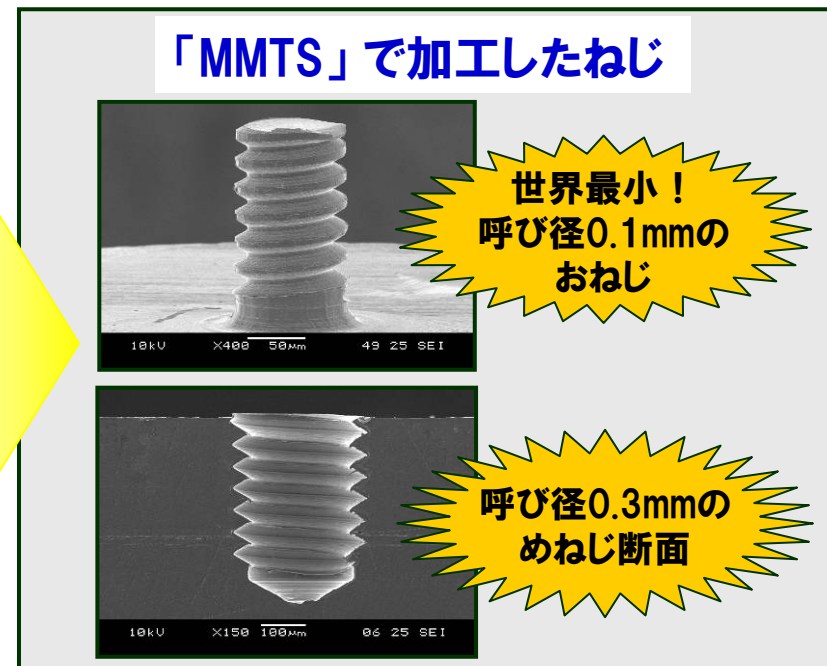
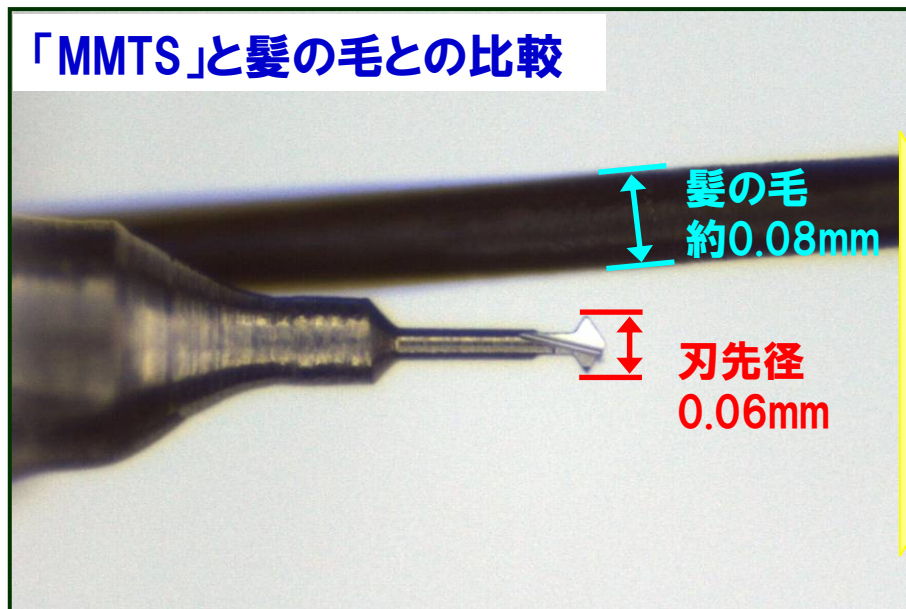
顧客満足度の推移（当社顧客1500社を対象としたアンケート）

過去5年間で着実に改善し、シェアアップに貢献



# 技術力のあくなき追求

2011年 **超**モノづくり部品大賞「日本力 (にっぽんぶらんど) 賞」を受賞  
【受賞製品 マイクロねじ切り工具 MMTS】



部品・部材を対象として、技術の独創性や性能、環境への配慮などに優れた製品が選定される  
(モノづくり推進会議・日刊工業新聞社共催/経済産業省後援)

# 若手・女性社員を積極採用



# 一層開かれた株主総会を目指して

## 第51期(2012年3月期)の株主総会の概要

開催日時	2012年6月23日(土) 11:00~12:00
会場	大森東急イン 5階 フォレストルーム (JR大森駅直結)
御土産	・JCBギフトカード1,000円 ・海苔・海苔煎餅セット

## 株主総会の状況

1. 集中日を避けるとともに、初の土曜日開催といたしました。
2. 来場株主数は前年の倍近い49名となりました。
3. 個人株主様のご来場が増加しました一方、お取引先等の株主様は減少しました。
4. 7名の株主様より10問のご質問を頂戴いたしました。(今年の倍)

第52期(2013年3月期)の株主総会も株主満足度の一層の向上を目指します

# IR宣言

2012年3月8日発表

IR宣言を公表し、パブリック企業として皆様への説明責任を果たしてまいります。

## 日進工具株式会社 IR宣言

日進工具株式会社は、ここにIR宣言をいたします。

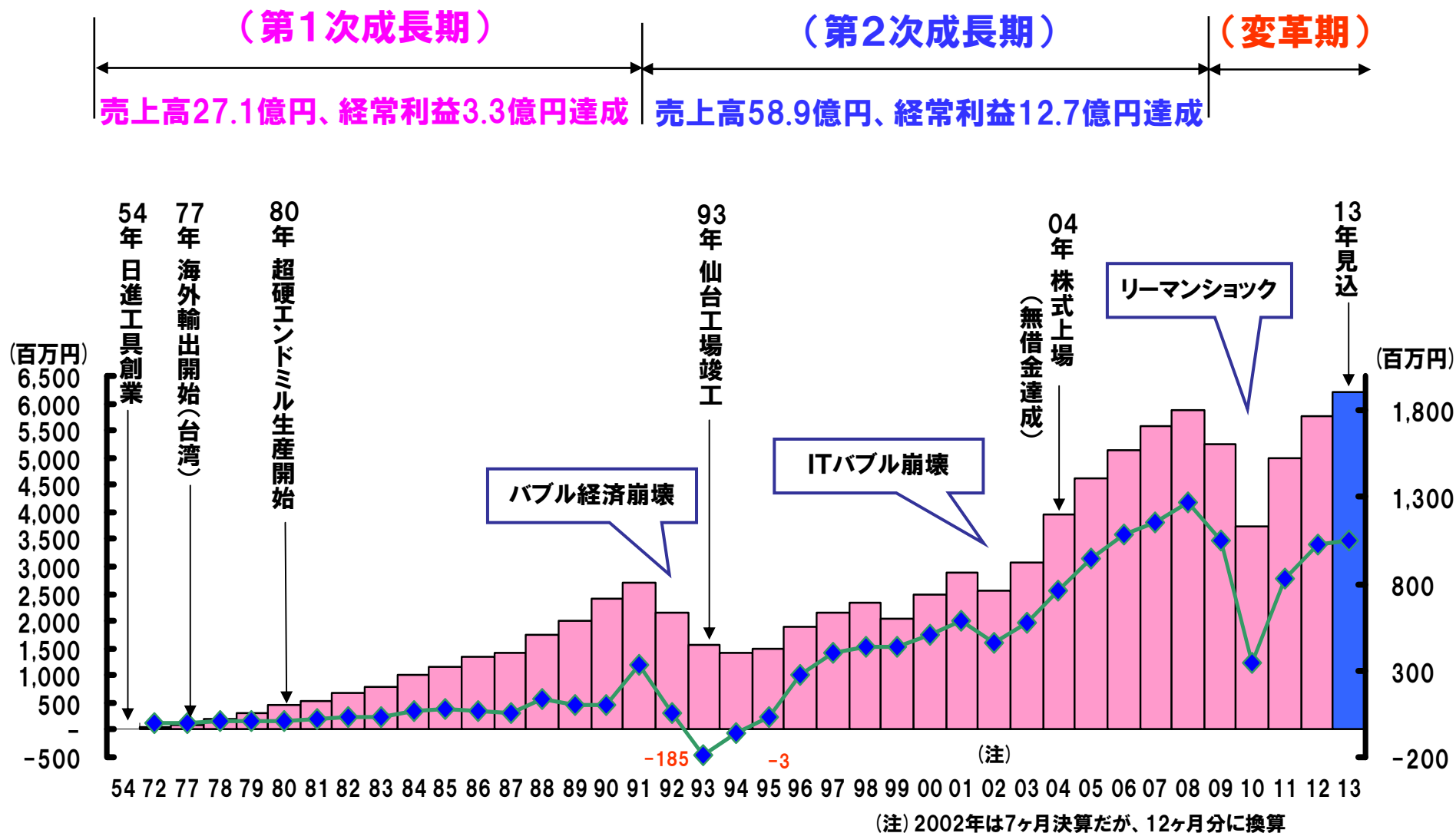
- IR活動を経営の最重要項目のひとつとして位置づけます。
- ジャスダック上場のパブリック企業として説明責任を果たし、常に明瞭な企業メッセージを発信いたします。
- 企業認知度の向上を目指すとともに、事業環境や業績の好不調にかかわらず、一貫して前向きなIR活動を行います。
- 個人投資家、機関投資家、また国内、海外を問わず、すべての市場関係者に対して公平かつタイムリーなディスクロージャーを行います。
- 市場並びに株主・投資家の皆様とのゆるぎない信頼の構築に努めます。

# 有言実行のIR活動の推進

## 日進工具株式会社 IR活動目標（2013年3月期）

1. 企業の認知度向上に努め、事業内容の理解促進に注力いたします。
  - ◆ 個人投資家向け説明会を年3回開催いたします。
  - ◆ アナリスト・機関投資家向け決算説明会を本決算・第2四半期決算の年2回開催いたします。
  - ◆ 個人投資家向け説明会、アナリスト・機関投資家向け決算説明会で使用したIR資料や質疑応答の内容については、可能な限りウェブサイトに掲載して広く公開いたします。
2. 企業理念並びに経営戦略を、情熱を持ってお伝えいたします。
  - ◆ 個人投資家向け説明会、アナリスト・機関投資家向け決算説明会については、すべて代表取締役社長の後藤勇が直接説明し、すべての質問に回答いたします。
  - ◆ アナリスト・機関投資家との個別取材については、すべての取材依頼に対応いたします。  
なお、取材の際は代表取締役社長の後藤勇またはIR担当役員の田島寛のいずれかが必ず対応いたします。
  - ◆ 日進工具の企業価値や事業戦略を理解していただけるよう、明快なIRツールの提供を目指し、説明会で使用するIR資料並びにウェブサイトの改善に取り組みます。
3. 中長期のステークホルダーを増やし、株主満足度向上に邁進いたします。
  - ◆ 株主・投資家の皆様の声を経営にダイレクトにフィードバックし、企業価値の向上に努めます。
  - ◆ 電話やメールでのお問い合わせについては、原則としてすべてに対応いたします。  
なお、多く寄せられる質問につきましては、ウェブサイトのFAQコンテンツに掲載し、広く公開いたします。
  - ◆ より多くの株主の皆様にお越しいただけるよう、株主総会を土曜日に開催いたします。  
なお、株主総会では原則として すべての質問に回答いたします。
  - ◆ 株主の皆様は、配当性向に配慮しつつ業績に応じた適切な利益還元を実施いたします。

# <参考資料①> 創業時からの売上高・経常利益推移



## <参考資料②> 過去5年間の業績と主要データの推移

(百万円)

	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期
売上高	5,892	5,251	3,857	4,977	5,781
経常利益	1,271	1,052	361	834	1,032
当期純利益	727	598	242	426	535
有利子負債額	0	0	0	0	0
純資産額	5,169	5,649	5,784	6,164	6,678
総資産額	6,409	6,265	6,363	7,143	7,906
自己資本比率	80.7%	90.2%	90.9%	86.3%	84.5%
設備投資額	499	902	386	274	1,051
減価償却費	402	453	491	440	471
1株当たり 配当金	77円	70円	30円	50円	70円
従業員数	206人	205人	205人	206人	232人



# お問い合わせ

## 日進工具株式会社

執行役員管理部長 田島 寛 / IR担当 今関 弘毅

TEL : 03-3763-5672

FAX : 03-3764-8225

E-mail : [ir@ns-tool.com](mailto:ir@ns-tool.com)

将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、  
確約や保証を与えるものではありません。  
予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。